

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会

第40回 理事会 議事録

1. 日 時 : 2025年2月6日(水) 13:30~15:30
2. 形 式 : WEB 会議(ZOOM 利用)
3. 出席者 出席理事 : 幅 淳二、山口誠哉、浅野克彦、杉山 純、長谷川和男
出席監事 : 古屋貴章、須賀監事

4. 議事の進行

議事に先立ち、事務局より次の確認が行われた。

- 1) 今回の理事会には奨励賞の選考についての議題があるため、選考委員会の小林委員長が出席していること。
- 2) 理事会をWEB会議として開始するに当たって、出席理事、監事及び小林委員長の音声及び映像が共有されていること。
- 3) 本日の理事会への理事・監事の出席は、理事6名中5名と監事2名が出席しており、定足数を満たしていること。
- 4) 理事会議長は、理事会運営規則第4条により代表理事が当たることとなっていること。

5. 議事録署名人について

定款第33条第2項により、代表理事と監事が議事録署名人と規定されていることから、代表理事及び監事に議事録への記名・押印をお願いしたい旨の依頼があった。

6. 議事の経過と結果

定刻、代表理事が理事会議長として開会を宣した。初めに監事の紹介があり、決議・承認事項に入った。

1) 決議・承認事項

第1号議案「2024年度奨励賞授賞者選考」に関する件

議長より、2024年度奨励賞には西川賞に4件、小柴賞に3件、熊谷賞に1件の合計8件の推薦があり、12月11日に選考委員会を行った旨の報告があった。

その後、小林選考委員会委員長に説明の依頼があり、小林委員長から資料1に基づき、西川賞の選考経緯及び結果について説明があった。

議長より、意見、コメント等を求めたところ次の意見があった。

- ・最初の河村氏達のもので論文が出ていないとのことだったが、全く出ていなかった

たのか。

これについて委員長から、論文が全く出ていないということではなく H ラインのコミッショニングを含めたビームライン全体の評価論文が出ていないということが委員から指摘されていたと回答があった。また推薦者にこの報告書を送付する旨話が合った。

続いて小柴賞について委員長より説明があった

議長より小柴賞について意見、コメント等を求めたところ、

- ・春山氏のパルス管冷凍機の開発について春山氏一人の業績か気になった。春山氏が中心になっていたとは思いますがそのほかの多くの方が関わっていたと思う。KEK の低温部門の方もいた。このような議論はなかったのか。また2005年に文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞したがその時にも他の方も表彰されて推薦者(三原氏)もその一人だった。こういった経緯との対比でどうか。

これに関して委員長から、もっと早く(15 年位前に)推薦されるべきだったという議論はあった。

代表理事から、科学技術賞を受賞した時のメンバーは MEG 実験のキセノン検出器に係った方が対象とされており、機器の製作、オペレーションに携わった技術職員なども含まれていた。そのあといろいろな実験にこのパルス管冷凍機が使われるようになっており、その発案者として春山氏が中心になってこの冷凍機の普及を進めてきたことに関しては委員の間では違和感はなかった。

- ・TES について受賞候補者 4 名いるがそれぞれの分担についてはどうであったか。

委員長から、「推薦者によると岡田、山田、橋本氏はプロジェクトの黎明期から測定器技術の開発を主導、奥村氏はミュオンの実験からではあるが、検出器の開発・調整において重要な役割を果たし、特に提出された 2 つの論文の筆頭著者となっていて、プロジェクトに大きな貢献をしたとのことであった。このことから 4 名で推薦するのが妥当と結論した。」との説明があった。

続いて熊谷賞について委員長から説明があった。

議長より、意見、質問等を求めたところ特に意見、コメントはなかった。

議長から授賞の概要について報告し、全体を通じて意見を求めたが特になかったので案のとおり選考するという結論でよいか賛否を求めたところ、全会一致で承認された。

第2号議案「2025年度事業計画書(案)承認」に関する件

事務局より資料 2 の事業計画書案について、前年度からの変更点について説明に

あった。

議長より、意見、質問等を求めたところ下記のような質問があった。

・人材育成、国際交流に対する助成で助成金額は予算表によると昨年と同じであるが、海外出張に係る費用はとて高くなっているので柔軟に対応していただけるのか。

・国際交流助成、国際会議等助成について予算と助成額が違っているが判断基準などはあるのか、助成額全体の中で柔軟な対応は重要と思われるので内規等で規定しておいてもいいのではないか。

これについて事務局から内規にこのことを規定することとしたい旨回答があった。そのほか、加速器セミナーの対面での募集人員、テキスト代について、また探訪会の募集人員と2024年度の賛助会員の増加実績との関連を含めた質問があった。

代表理事から、20名程度というのは受け入れや移動を考えるとちょうどよい人数であるので当面そのレベルで募集を進めたいと思うが、賛助会員勧誘に際して探訪会をメリットとして強調したことでもあるので、希望会員が30～40社と増えた場合はそれに対応することを改めて考えてみたい旨の回答があった。

議長から第2号議案について 賛否を求めたところ、全会一致で承認された。

第3号議案 「2025年度収支予算書(案)・収支予算書内訳表(案)、資金調達及び設備投資の見込みについて承認」に関する件

事務局より、収支予算書(案)を作成するにあたって資料3-4に基づき経常収益、経常費用の見込みについて説明があり、今年度の執行見込み額をベースに作成した旨説明があった。また経常増減額は△609,000円となるがこの不足額については特定資産により補填したい旨説明があった。

議長は本件について意見、コメント等を求めたが特になかったので、賛否を求めたところ、全会一致で承認された。

第4号議案 「第32回評議員会の招集」に関する件

事務局より、資料4に基づき評議員会の招集について説明があった。

議長は本件について賛否を求めたところ、全会一致で承認された。

第5号議案 「個人情報保護規程(案)、特定個人情報等取扱要項(案)の制定」に関する件

議長より、2022年度内閣府の立ち入り検査で指摘されたのでこれに対応するために制定したい旨説明があった。

事務局より、資料5-1、5-2、5-3に基づき説明があった。

議長より、本件について意見・コメント等を求めたところ、資料 5-3 の第 2 条にある「意義」は「定義」の間違いではないかとコメントがあり、「定義」に修正した。

議長は本件について賛否を求めたところ、全会一致で承認された。

2) 報告事項

(1) 代表理事の事業報告について

代表理事より、資料 6 に基づき報告書の前段部分の報告、研究に対する助成、国際交流に対する助成、国際会議等に対する開催助成について報告があった。また今年度の奨励賞の選考についても報告があった。

(2) 業務執行理事の業務報告について

山口業務執行理事より、資料 6-2 により高エネルギー加速器セミナー OHO'24 の開催報告、資料 6-3 に基づき第 4 回加速器施設探訪会の開催報告、資料 6-4 により「科学と音楽の饗宴」について報告があった。これらはいずれも好評であった。

(3) 事務局からの報告について

事務局より、資料 6 に基づき出版物の頒布、理事会、評議員会の開催等について、また資料 7 に基づいて今年度の収支決算見込み、資料 8 に基づいて賛助会員の状況について報告があった。

議長より、以上の報告についてコメント等を求めたところ、国際交流助成の 3 件目の助成額について、什器備品費の机など按分とあるが管理上は問題ないのか、また個人情報保護を実現するようなソフトの購入などについて質問があった。また、選考委員会などの外部委員委嘱にあたっては、必要な場合、技術の輸出管理の対応として、該非判定の手続きを行い、根拠を示せるようにしておいた方がよいのではないかとコメントがあった。

3) その他

(1) 奨励会の今後の主な行事について

事務局より、2024 年度奨励賞授与式の日程等について報告があった。

7. 閉会宣言

議長は 15 時 30 分に閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長(代表理事)及び監事は記名・押印する。

2025年2月6日

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会

議事録署名人 議長 代表理事 幅 淳二



監事 古屋 貴章



監事 須賀 伸一

